雜集

鈴木大

共四冊

和書門
類 三六〇五一號
函 二二四
架 三八
冊

155
内閣文庫
和書
三六〇五一號
函 一五四
架 三八
冊

和書
三六〇五一號

内閣文庫
番號 和 36051
冊數 38 (1)
函號 150 155

綴じ部（喉部分）の文字など開きが不鮮明な箇所あり

国立公文書館
National Archives of Japan

内24

桜社書一

弘化四年辰　和泉忠吉
兼陸奥一ノ宮

天保十五年七月四日　毛中牧野備前守殿、指出

[illegible]

[illegible]

[illegible]

シラン夕國ノ公日後ニ[illegible]
中國ハ商賈ヲ[illegible]
和商[illegible]
[illegible]
[illegible]

カヒタン
ヒイトルアルヘルト
ヒッキ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
八年以来役ブラバントヤ西ヨリフランス人ヨリ
タノ命ニ背キ[illegible]ヲ[illegible]ヨリ[illegible]イギリスフランス二国ブラバ
ントヤ[illegible]ヲ[illegible]ヨリ[illegible]ヨロシヤ人軍和ヲ指西陸ヲ戦
開ニ及ノ[illegible]ヲ[illegible]ヤ[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]
[illegible]ヲ引[illegible]ブラバントハ[illegible]
[illegible]ヨリ[illegible]
[illegible]

一和蘭第八月上旬[illegible]十日ヨリ[illegible]和蘭[illegible]
ハバンノ日又[illegible]マルヘツト日ホレアスロ又[illegible]
[illegible]和蘭[illegible]ケイスル[illegible]
[illegible]越ノ和ニ[illegible]
[illegible]

一和蘭軍和ハ[illegible]
十三[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

元中[illegible]

此方[illegible]

[illegible]

一越後人此方[illegible]年九月不作[illegible]西法[illegible]千被[illegible]

当時越後[illegible]

[illegible]

[illegible]

一敵方ニ対し候ハヽ御仕合之儀ハ
是ハ之時分ニ而ハ
一右之ヒタン部屋ハ
当藩ニ而之儀

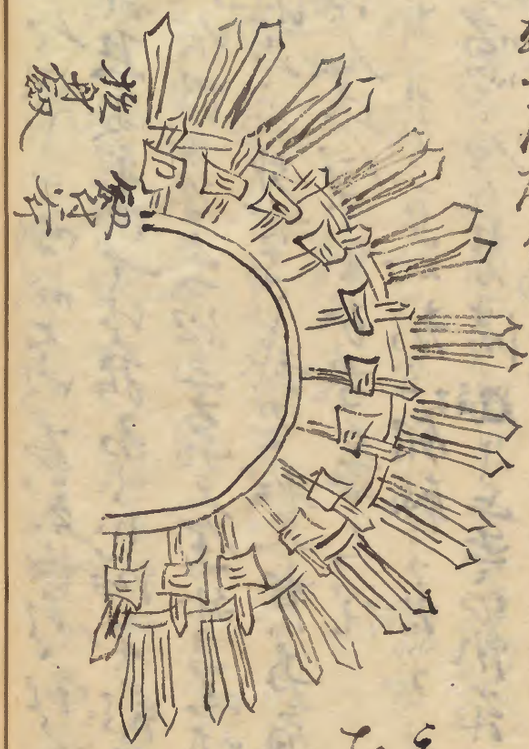
ヒタン部屋ハ
酒大成樽男ハ
同小十二樽
鶴五十羽 茸三百斤 京鮨三百
大根五十把 鯛三十尾 一ヒキ（ヒキノコトナリト云）成
右之通ハ
百十ハ大坂表ニ
加藤

一前ニ申上候通ハ
一同出帆ニ付
宮ニ集り
陣屋ニ名村
ハヽ繋船
名護屋ニ
右陣屋ニ
ハヽ
其之節
附御
為
拾人
拾人
拾人

[illegible]

[illegible]

[illegible]



元中醫也紙使
所持之字

一三指目之所示以外は部位を頭之面部位に不出之面
じ以外面目机部位之面目座敷之面目は七面迄之外は部位
之面側之八つ部位三指能之指之外面部位凡部
位七之部位也之指定之れ当目は酒部位三不相位しき
は三部口呂しせるール酒呂手酒之外口物呂手酒呂
酒も部呂呂呂

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]年云伊沙波[illegible]小[illegible]能好人物[illegible]時[illegible]命
[illegible]山沙地[illegible]都[illegible]必死[illegible]受[illegible]時[illegible]好[illegible]小[illegible]林
或[illegible]捧[illegible]山[illegible]
村[illegible]
為中[illegible]小男也[illegible]而[illegible]能毋[illegible]
伊沙波[illegible]詩[illegible]識[illegible]

黠奴元有利兼[illegible]豈向　神州[illegible]祇[illegible]沙浪侵
東三[illegible]里滿船兵器尽受嬉　右八十月中[illegible]
海兼高衝天　山雲已掩地我手有清氣一拝拝辭魁
右[illegible]中[illegible]
右伊沙波[illegible]詩[illegible]

[illegible]千[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]千[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]千[illegible]
[illegible]

琉球

日清戦争後

一当月中フランス人大尉ニ千五百人ヲ率ヒ仏領安南ヨリ来リ二千余人ヲ率ヒ清国ニ向フ

[illegible]

天保十五甲辰五月廿日右[illegible]

不顧妻帰[illegible]事言出

抑[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一はやく北方に行ひ夷人の内彩と八百戸ばかり
居住彩徒ども此度行義を聊か為民の為に
しかの中にうせし
一寛政二年犯罪人の所に流罪多くして人に苦しみ
為相応と云八拾戸ばかり移して
一文化二年に蝦夷の緑紙千枚を以て
内山内代官見届の為に
北彩八拾戸ばかり移し
ぜし
一強盗有無候ことなき所人中
行ひを強八拾戸ばかり居
と均しく為民風俗を
二去る寅年以来不拾ひ
一京式百文を以て
し
一石巾の
麦舞七年
等信式と
一神明の
為
一
らし
一田畑

来人に業授を乞て出家を所存に
中間に対する誤を授光を外し
られ候を拝し名を法号を
一切抜天下の古法を端来申し
候も出家諸宗時機を得云

天保年中仲夏

并上国坂古屋

皆松平加賀守殿分法華宗に成し
下えおは出家者如因之所和法
者中者を心安に成て越前
中和尚自を祝し法を授
越中を弘法者し出家
こと能ず法華を
天保十四辰年四月四日牧野備後守殿
江戸表出張之節出家
宗門を出家
一宗を和尚
永禁制
制作所
宗門
宗門
宗門

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

砲術を学ばれ熟練四百人し清兵を呼び十七艘共術を授ける
付是迄之処異国角城ゆえ中ごろ外様と道路し来る
当夏舟風強大祈願承り申し旦又大筒拵も寄せイギリス
吾庭を招に承り申し勢を招じ子ども多くて侍度
事決し就て我清朝者対し為清人今日敵国
弓イギリス彼大国人と申て能営業に行し道人口を使りて品を
筆紙連ね等人を地を行如し陽制をはじめ品イギリス
祥密為ゆえ之を朝決し軍人を防術しう甚秘して
諸年に伝ゆ事クイギリスこれ手これし由を義をイギリス
たゆえ之一たを　将軍家（献上と申て打年）
徳川其祥密を

右久葉年代水戸年記考也しを天保十三年

一当七月中水戸城下に出る夫水戸城に当る
紙書に八つ時分処イギリス紙人船を乗山
子五八つ寅刻　城下水戸人数
ゆえ出る迄に清兵一統を所拵て
水戸に廻山に清兵を張に
一水戸城内に清兵を張に
に向甲斐を為に
立居に加藤門に
小竹庄に
浮浪人を
浮浪を
城中人事拵も
中ごろ
高山
清兵
高山
清兵
高山
清兵

右ニ条天保十三年
南人来書之写

天保十三壬寅年七月十六日阿蘭陀人風説書

一エゲレスボルトより事に対し二艘打勢を以て防ぎ
度旨仰付候事

一エゲレスボルトより長崎に参着仕候事

一フランスボルトより長崎に参着仕候事

一アメリカ国より二艘の船長崎に参着仕候事

一唐船より長崎に参着仕候事

一唐船より長崎に参着仕候事

一唐船より

を以て迎ひ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

右之通相違無之候間相違無之

[illegible]

一土井大炊殿より新潟奉行所へ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

和漂流人送届の儀に付き肩書お願ひ
申候通り日本人漂流に付き寄り合ひ
入港し長崎送届相成候ハ[illegible]
之儀ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

西人是ヲ以テ沿海ノ人ヲシテ近ク之ヲ畏レシム

○元海梅ニ語テ曰ク利亜近来武威強盛ニシテ四大洲中ノ諸邦ハ
ニハ行ヒ難キヲ以テ八十余所ニ及ヒ本ノ南方大海ノ諸邦大
抵皆奉貢セリ其本国ノ土地ハ大畧我ガ本国ト伯仲スベシ
本国ノ人民ハ二千七百七十万六千余ニ過ギザレ共攻取タル海外
ノ領地ハ八十二所ノ民数ヲ以テ七千四百廿四万余アリテ本国ノ人
数ノ四倍ニ余レリ其所持ノ大船一万五千八百六十四艘皆蒸
汽ノ上官十七万八千
軍艦製ニテ兵船大砲四十八坐載七棄船ノ上官十七万八千
六百廿人下官四十六千余人其他水主炭焚奴炊奴等モ亦
一艘平均六百廿人ノ実ニ富盛ノ国也初諸邦利亜ノ清朝ニ交易
ヲ通セシ以ニ是ヨリ以前ニ阿蘭陀ト波斯杜瓦尔ノ二国商船
ト為ニ其ニ専ラ貨物ヲ交易ス然ルニ諸邦利亜ノ通スルニ及テ
富盛ニシテ貨物ノ多ク以テ互市ノ勢漸ク廣大ニ成テ二国ノ利
少ナカラザルヲ以テ二国ハ北ヲ虞ヘ廣東港ノ交易ノ吏ニ賄賂ヲ
遣ヒテ説ヲ構ヘシテ国ヲ清朝ニテ其諸邦利亜ヲ疎ニ互市モ
頗ル難渋ニ及ビ乾隆年中ニ至テ疎闊セラルヽ益甚諸邦利亜
ノ官吏等モ清朝ノ交易ヲ休ント欲スルノ評議アリシト云然レ
漢手産ノ茶ヲ諸国利亜ノ人珍重スルニ極テ甚キヲ以テ国王輩
民ト会議ニ支那国ヲ晴ヲ以テ我国ヲ疎スルト雖モ支那帝ノ意ヲ
出タルヲモ有マシケレバ我国ヨリ別ニ使者ヲ遣シテ献上ヲ盛大ニシ

上官下官水主炊奴通計五万十八万四千六百廿人一艘平均六百廿人

臣(モ)進物ヲ豊厚ニシテ六家ノ一ナリト雖ト入ル ニ於テハ和蘭ノ国ニ
ハ必セリトテ嘉慶帝誕生ハニ及賀使ノ為ニ西一国ノ名誉ノ
智臣琉(ロシヤ)兒鑼(ナ)麻(マ)葛(カ)尼ノ使トシ其他天文地理医術工技
物産等ノ学ヲ勝レタル高明ノ士数輩ヲ選ミ副使トシ珍宝奇書
画等種々ノ品物ヲ携ヘタル高明ノ士数輩ヲ選ミ副使トシ珍宝奇書
ニ帝及諸大臣ニ献ズ於是手和蘭ノ厚リ国ニテ交易ノ願ヒ成リ
是ニ因テ乾隆帝 諸厄利亜ヲ信ズルヿ厚ク地ヲ賜リテ商館ヲ建
ニ今ハ廣東港ニ於テ西洋諸国商館中イギリスノ商館最廣大
美麗ニシテ厳然タル一箇ノ堅城ナリ 後イギリス国王漢土ノ学ヲ明ニ
セントヲ欲シ人ヲ支那ノ学校ニ遣ハシテ学ハシム 故ニ往ニ侍ノ賦ニ

文ヲ作ルモノアリト云

莫利宋(モリソン)ハイギリス国良家ノ子ニシテ幼年ヨリ学ヲ好ミ材力強偏弱
冠ニシテ学校ノ教授タリ漢土ニ遊学スルヿ廿餘年 蔵書五車頗府ヲ
イギリス語ニ翻シ自ラ序文ヲ作リテ開板セリ(今五書船来シテ天文屋ニキアリ) 文武兼
備ノ英雄ナルヲシテ機要役ヲ勤メ次第ニ昇進シテ当時廣東交
易吏ノ都督ニ補セラル東南洋中ノ属国處置交易等ノ務メ
ヲ帯シ五百石ノ禄ヲ食シテ千餘艘ノ軍艦ヲ支配シ三万人程ノ
水軍ヲ撫御シ南海諸州ノ軍務ヲ統轄スルノ所ノ文ヲ節畧シタルナリ若シ莫利
右者諸厄利亜国ノ史記ニ載スル所ノ文ヲ節畧シタルナリ若シ莫利
宋ノ自ラ来ルヿナラバ容易ナラザルヿナレバ
等ノ海浜見ル得ナリバアルベカラズ

右一書、潛庵寺井肇来訪示予、兼燭ノ間、謄写ニ不得一読而返璧畢、故不能無脱文、誤字、唯概林宗之所上間異船接待之文字不得也、又尾関三栄之所論、風説之文字頗有数説之説也

天保巳亥三月下澣　鳥井耀蔵

幕府鑑察及県令測量家等今日登城之由風説ニ猿島之南新設大炮ト云ヘリ、又云、河越侯領地見改ヲ云ヘリ

三月望日　大西野新治筆記

紅毛告密　馬

和蘭国ヨリ出島ニ献上ノ目録和解　渡川六蔵

鉄箱之上ニ出ル和解

六ツ印封ニ成ル第ニ和蘭国ヨリ出島ノ蘭人ノ鉄ヲ納ムル箱

日本国帝　徳川大将軍ヲ　ヘ　呈ス

出島ノ蘭人ヨリ別ヘ帝ヲ申シ上ル出島ノミ開村ニ成ル

暦数千八百四十四年二月十日　天保十五年印ノ年　十月廿七日ニ中ル　花刺沙法尼　和蘭

国ノ都ニ於テ記ス

和蘭国ヨリ密議ヲ以テ　名花押　文字不可読

崎陽所謂石氏アーゲーアーフアンラプハン

鍵箱之封印加解

出尚外第壱之加解

日本国帝殿下

和蘭国王

書尚和解

神慮ニ倚頼ス和蘭国王兼阿郎月（拝印案国ノ地名）納騨（ナスサウ）（独逸都国ノ地名）のブリンス名爵吉瑟漢勃兒孤（和蘭国ノ地名）のゴロートヘルトフ爵名微尔列漢第二世達テ江戸の政廟ニマシマス德威景高威武隆盛ナル

大日本国君殿下ニ書ヲ奉シテ微意ヲ表ス冀クハ殿下親覧ヲ賜ヒ

ン事ヲ願フノ福ヲ享ケンコトヲ祈ル

一抑今ヲ距ること二百四十餘年前ニ世ニ巻ヲ分ツまー南セし

烈祖権現家康公信牌ヲ賜ハリ慶長五庚子年和蘭国ノ船始メテ邦

神祖ヨリ御朱印ヲ賜リ已酉ノ年七月廿五日ニ来リ同十四己酉ノ年七月廿五日

今茲甲辰ニ至ル二百三十六年ナリ 我国人共国ニ航シテ交易スルヲ許

サレシコリ古ノ好ミ厚ク甲必丹モ年ヲ期シテ

殿下ニ謁見スルヲ許サル 古ハ甲必丹ノ江府拝礼毎年ナリしカ寛政二庚戌

年より五年目ニ為リ此ニ年ヲ期シテいへるハ

蓋シ代ノ宜シキヲ

サシテ云ヘルモ 聖恩ノ隆厚ナル寅ニ感激ニ勝ヘス我モ亦信義ヲ以テ

古ノ交誼ヲ思義ニ答奉リ弥共国ノ村内ヲシテ都鄙ニ庶民

志ヲ安尼ナシ免ムと欲 戦死ニ至ル迄ニ至ル 出ヲ奉ルベキ緊要

の、メ為ク且交易ノ法ヒ尋常ノ風説ハ 按若邪亜爪哇島の府名也元

和五己未年和蘭国人金島ヲ奪ヒ南瓦若剌城 及ビ和蘭領亜細亜

ヲ改メテ按若非亜と云

諸島和蘭国ノ人印度地方ノ諸島ヲ併奪テ領ス是ヲ和蘭領亜細亜諸島トイフ　の総督ヨリ告奏する所ニて両国書ヲ通ずるよ　あらざるべしと　両国書ヲ通ずるよ　あらざるべしと　ふ説也慶長十四己酉ノ年　七月廿五日　神祖ヨリ和蘭国王ノ使ヲ出ス　あり　是和蘭歴代治平ノ日ヲキヲ以テ之敵ノ徴スヘキナキニ乃ノミ　今爰ニ親睦ヲ雖き一大

ヲ起シ　幕府両国ノ交易ニ拘ルニアラズ　貴国ノ政治ニ関係スル

ある　之ヲ来朝ノ意ヲ　奏始テ

ニヨリテ其来朝ノ意ヲ免レ玉ハンヿヲ　願下ニ書ヲ奉　伏望　戊寅先

一近年英吉利国王今支那国帝ニ対シ兵ヲ出シテ烈敵戦争セリ本

来ハ我国ノ舶毎年長崎ニ至リテ貿易スル処ノ風説ヲモテ既ニ知リ給フ

ベシ　威武隆ナル支那国帝王モ又ト戦テ利アラズ　欧羅巴海ノ

兵学ニ長セルニ降易シ　終ニ英吉利ヲ　ノ加親ヲ約セリ是ヨリシテ

支那国古来ノ政法甚錯乱シ　海口五処ヲ開イテ　欧羅巴人ノ交

易ノ地トなさしむ　五処ノ地方ハ即チ廣州福州　其禍乱ノ為ヲ尋ルニ

当時ノ厦門上海ヲ云

当時ノ三十年ヨリ　欧羅巴ノ大乱　治平セしが　貴政ノ比ニ為リテ　佛

ある　国の内乱ヲ　ハフライ自立ノ王タリ　欧羅巴ノ　英吉利ヲ四方ニ出メ諸国ヲ併セトシ

欧羅巴内大ニ乱ル　文化十三丙子ノ年諸国相謀テ　ヲ攻ニメ流罪ニ処ス

兵乱治平セリ　乙亥ノ年　甲辰ニ至リ　正ニ三十年ナリ　諸民皆永ク治化ニ浴セシヿヲ願フ　其時ニ為リテ

古賢ノ教ヲ奉スル帝王ハ諸民ノ為ニ多クノ商賈ノ道ヲ開キテ民蓄殖

セリシカリシ今器械ヲ作ルノ術及ヒ合離ノ術万物ヲ離合ノ其質ニ因テ施

ヒノ奇巧ヲ授明シ人力ヲ不費ノ貨物ヲ製スルヲ得さしめしらず諸邦ニ

商賈蔓延シテ反テ国用ニ欠キニ至リ又就中武威世羅ル英吉利ハ

素ヨリ国力豊饒ニメ民心巧智アリトイヘ国用ニ乏ハ特ニ甚シカラ

貴の西洋ニ不探して速ニ利潤ヲ以人ヲ欲惑ハ外国と争論ヲ興シ

時勢ヲ己ヲ以て知国ヲ力ヲ尽シ其争論ヲ助クルニ足ル是等ノ

豊大四氏法妙甚ニ乗平生所見者端ニ会ス氏ヲ明察ニ正ニハ交易ノ利害ハ夫ハ諸スルー治ナリ

ヨリテ其商賈文那国ノ官吏ニ広東ヲ争端ヲ開遂ニ兵乱ヲ起セ
シ辺土那国ニハ戦甚タ烈シ且数府ヲ侵掠破壊
セラルノミナラス此数百万金ヲ出シテ火攻ノ費ヲ償フニ至レリ
一英国モ今亦如此ノ災害ニ罹リ玉ントス凡災害ハ倉卒ニ發スル者也
今今日本国ニ異船ノ漂流スル者多ク来リ行テ是ノ為ニ其船兵ト
貴国ノ民ト忽チ争端ヲ開ク勢ニハ兵乱ヲ起スニ至ラシムルヲ熟察
シテ深ク心ヲ痛マシム
陛下高明ノ見マシマセバ必其災害ヲ遠ルコトヲ知玉フベシ我亦為ノ
策アランヲ望ム
一陛下聡明ニマシマスヲハ唐数千ハ百四十二年天保十三年ノ年ニ当リ英国人八月
十三日長崎奉行ノ所ニテ甲必丹ニヨリ書ニ因テ明カ也 今之ニ日異国

船日本ノ沖合ニ漂来ル時折折方ノ事為カニ取計フニ付 阿蘭陀船モ長崎ノ外ハ兼テ
ルヲ有マジキニモ無シ船ノ形似寄ヘハ兼テモ旨ヲ心ヲ不虐ノ過無シ況心ヲ通ス
マ波方又政ハ年中漂流ニ付ヲ以テ仁恵ヲ施ス 異国ニ付
外国ノ者ニモ数凡ニ遂漂流等ニテ食物薪水ヲ乞ハ
ハ拘一国ニ方政炮ヲ打放ヲハ外国ハ対シ信義ヲ失ハレ
異国人漂来ニモ食物薪水ヲ乞ハ数ハ折柄ハ此ヲ方ヲ
取計ノ方数ヲ以ハ和蘭陀人ハ心ヲ通ス
ヲ厚ク思ヒ敬ヲ信義ヲ
敬ヒ去年マヤル

一去年ハ異国ノ厚遇ヲ極ヲ詳カニ載
ると雖とも恐ラク尚ハ未ダ長ケサル所ノ意ハ敬
況ハ遠ク海ハ食物薪水ニ乏シテ異国ノ漂流ニ
主ノミハ在ル 信義ヲ表シ或ハ他ノ恵ヲ
船ノ人時ノ処置ハ見ヘ此是号ノ船ヲ冒昧ニ排撃シ必争端
ヲ開ク人凡争端ハ兵乱ヲ起ス兵乱ハ国ノ荒廃ヲ招ク百年来
我国ノ人異国ニ為ノ恩恵ヲ謝シ奉ル為ノ異国ヲ

此災害を免れしめんと欲す古賢の言に曰災害ありうんと欲せば隙を
ふさぐ勿れ安穏を求めんと欲せば物足を設ける勿れ
一謹て古昔の時勢を通考するに天下の民は迷ふ者なし
其勢は人力のよく防ぐ所にあらず蒸氣船の水を渡し其蒸氣にて水車を旋転せしめ凡向に拘はらず
自由に進退する船を文化四丁巳の年に創造せしより
以来各国相距ること遠きも往近年に異なることなかるべし好事通ぜ
の時に当り独国を顧て万国と交親を結ぶに非ざれば人の好む所に非ず国暦
代の法に異国人と交を結ぶを禁じ玉ひしい欧羅巴洲に通じ知る
所を知る日賢者位に在るは特に治平を保護し此を尚ん為に
侯及考 故に古法を堅く遵守して以て乱を釀さんとせば其禁を弛むるは
賢者の常経のみ是 殿下に于寧に忠告する所也

国の幸福ある地にして兵乱の乱に荒廃せざらしめんと欲せば異国人を
厳禁する法を弛めむ為し出れ来ふ所ふして我国
の利を謀るに非ず夫術を加へ怒を好ミ通ぜざるは交易に在り
通ぜざるは交易に在り
一此度岩を採用し給へと欲せば 殿下親属の近臣を賜はる為し
光ふは又腹心の臣を奉らん此書に概略を陳ずるは其使
臣に向て言フベシ
一我が速く隔絶する豊国の幸福を謀る為に甚心を痛しも
加之在位二十八年にして四年以前に譲位せし我父徽尓列謨第一
世王も遠慮して出家に沈り 徽尓列謨第一世は亜那天皇辰の年に生れ
乙亥の年王位に対せし天保十一庚子の年今王に位を譲り
同十四癸卯の年平安に帰る 文化十癸酉年に知国国を奥後と同十二
殿下亦此事の

年平安に在位二十八年寿七十二

ヲ間居恐テ我ト長崎ヲ同ジ給ヒシ明ラカナリ

一 此ノ度奉ル所ノ国書ハ皆ナ陛下ノ返翰ヲ授シテ以テ人ガ為ノミ又我有像ヲ呈シ奉ル品ハ我封内ニ産シ行ハレ学術ニ依テ教ヘ和也不腆ノ品物国ノ人年来恩遇ヲ受ヒ所謝シ奉ンガ為ノミ

献貢ス向来不易ノ恩惠ヲ希フノミ

一 世ニ稀レ高ク マシマセシ 父君ノ治世久ク多福ヲ蒙受シ

ヒシヒシト奏帖セル神徳ニヨリテ 陛下亦多福ヲ受ケ大日本

国永世ニ遵天ノ幸ヲ以テ新造敷膳ナンヨウ祝ス

西暦ノ四千八百四十四年二月十日 天保十五年甲辰 二月廿七日ニアタル 尼剌汶法

瑪瓦 加蘭陀ノ都ノ宮中ニ於テ認メ

外国ノ名ヲ主ル大臣ノ官名

ヲ、ミシストル、ハンコロニエン

日本国帝下、 加蘭国王ヨリ奉献ノ貢物目録

一 和蘭国王御画 一枚

但身丈ケ 正面ニ金像ヲ付ケ和蘭国高名ノ画工ハンデル

ヒリスー人ニ学ビ出ル

一 水晶ノ花瓶 但高サ五寸八分 二本

一 カラベイン酒 但壺ニ入 壺数

一 カラベイン酒 但瓶ニ入 壺数

一 新刊地図 但欧羅巴諸国ニ国集ニシテ

一 三ツリナメ人 道中記 一冊

一 東印度草木之絵図 一冊

一 日本草木之絵図 一冊

一 和蘭国所有東印度地図 大 二冊

一 仏蘭西草木之絵図 大 二冊

一 日本草木之絵図 中 一冊

一 同獣類之絵図 中 四冊

一星学に拘りの地理書　中二冊
一星学書　中一冊
一デガラトフ人名之星学書　小一冊
一絵世界之図之記　小一冊
一サテリンス氏之説論　小一冊
一星学稽古書　小一冊
一天文書　小一冊
一万物之記論　小一冊
一地理書　中二冊
一天文書　小一冊
一ハルシイ之星説論　小一冊
一三ンケ之星説論　小一冊
一星学稽古書　小一冊
一星見観察之書　小一冊
一万物之記論
右之通和解仕候ハ返上奉可申上
三月　蕃山学士印

和蘭国指図之内通鞆并別幅甲乙丹、国絵之
久世右雲守　内藤紀伊守　青山大膳亮
林大学頭　稲生右羽守　遠山左近将監
清水内匠頭　石河土佐守　松平河内守
久保美作守　平賀三左衛門　松平式部少輔
小出御郡　山口内匠　石谷淡路
去年阿蘭陀国王ハ出鞆長崎ニ付別紙之通今度各台湾国之
出鞆指出ス右之通ニ付　松前奉行ハ尺之説ニ付為
写左ニ仕候事

加比丹ヘ喩書

我国往者ハ海外ニ通問スル諸国ハ少シカ四海泰平ニ治リ法刑厚
均リ朝鮮琉球ノ外ハ信ヲ通ジ来ル而已ナリシ其国ト交誼ハ年久シク
通商ニ至ルトイヘトモ信ヲ通ジ来ルハ古法ニ定ル所ニ不出物
ニシテ神ヲ以テ厚ク敬ヒ恭ヲ以テ交ル為ニ差レハ別ニ信ヲ通ジ来ルノミ
ニ而已 祖宗ノ厳禁ヲ犯シ是我邦ニ於テ故ヲ以テ返翰ノ世法ニ及
ヘリ其他多年通商ノ好ヲ不忘至職ノ改古不能着ハ之ヲ
其怨恨ヲ解ク能ハス故ニ其主職ヲ失ヒ旦誠意ニ戻ル依テ
其主ハ其ヲ遂テ其罪ヲ謝ス又品ヲ贈物ヲ以テ返翰ニ及ヒ
詰問ヲ加ヘシ志ヲ表シ厚意ノ如キ有カ如キ意ヲ以テ
納ヒ然ルトハ自是ヲ信義トシテ国産ノ品ヲ贈ル也我ヲ

深来ル之翰ヲ拆ク而已ナリ而シテ封ヲ開ケ
返シ之ヲ捨シ而シテ礼ヲ失フ而已ナリ之ヲ何ヲ一時ノ怒ニ
祖宗歴世ノ法ヲ変ヒ厳ヒ禁ヲ犯シ他日再ヒ言ヲ費ヤサレ
ヒ敢ヒ国ヲ煩ハセ之返翰ヲ固ク辞ス且ツ
必ス国中信ヲ失ヒ

一番ノ作文ナリ

寅歳七月 貴国使价永斎
国王書翰 到我肥前長崎港 時尹伊沢美作守受而達之
江戸府 我主覧後之
貴国王以二百年来通商之故 有遥察我国之利病 見忠告
一事 其言極為懇欵 旦別見恵珍品若干種 我主良用感荷

理宜布報然今有不能然者我祖創業之際海外諸邦通信
貿易固定一定及後議定通信之國通商之國通信限朝鮮
琉球通商限貴國与支那外此則一切不許新為交通貴國
於我從来有通商無通信ニ与商又各別也今欲為之布
報則違碍祖法故俾臣等達此意於乞等事之於
國王事似不恭然祖法之嚴如氏所以不得已請詳之至見惠
禮物亦在所可辞然而厚意所寄遐方遠致倘并返納益
涉不恭因今領受謹普土宜數種以表報謝其餘別幅勿
却幸甚抑祖法一定爾孫不可不遵後来從復幸見俾或
其不我屈至再三不能受幸勿為許至於乞等書稿亦準此
不為報也但貴國通商則遵旧約勿替亦是慎守祖法耳
幸事之於
國王其則云尔至於
國王忠厚誠意則我至亦深感銘不敢疎外也因今俾臣等具
陳言不尽意千万孫案不備
阿蘭陀國政府諸公閣下

阿部伊勢守正弘判
牧野備前守忠雅判
青山下野守忠良判
戸田山城守忠温判

同拜

弘化二乙巳年六月朔日

別幅

貼金屏風　一枚
撒金硯紙匣　一副
撒金提合盃　一具
華紋紋綾　二十端
彩綾　二十端

整

描金書架　一座
撒金文豊硯匣　一副
華攻編子　二十端
彩亀綾　二十端
彩紬　二十端

[illegible]流[illegible]内那覇仲[illegible]十[illegible]
[illegible]
佛朗西[illegible]人[illegible]
中[illegible]右修補[illegible]
[illegible]
[illegible]

以来右大臣公武家ニ対シ申シ候ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

和解ノ流球ヲシテ内ハ支那ニ奉[illegible]
[illegible]
[illegible]

大ボルシヱ革命ニ伴フ西班牙ノ内乱ニ干渉シ
軍艦出撃侵掠政策ヲ敢行シ分捕切捨ノ惨酷ヲ極メ
世界中ノ恐レ怖ルル所トナリ歐羅巴諸国ハ
既ニ其ノ敵国ト化シ表ハ公ニ抵抗ヲ為シ
曾西亜ヲ切捨テ中ト軍勢ヲ差シ向ケ曾西亜ヲ
建設シ一作同盟ヲ企テ亡ボシ
印度ヲ占領シ次ニ亜細亜ヲ目指シ
支那ヲ攻撃シ
ヲ
ヲ
ヲ

[illegible]佛蘭西ハ[illegible]
[illegible]ハ和蘭國ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]

聖人御分ケ給ヒ之ニ応ジ義を以て世間ノ様ニ
ヒ不心去而ハ中ニ立ち事を去和合ノ中ニ入て通り語ル人ノ事
性根深ク存込ル所ハ戦場ノ様ニ成ル所ハ
之を分ケ仕合ハ不語計を去考ヘ之難ク又聊ニ争論ヲ
之ニ軍勝ル之と異ル向ニ迷惑ヲ掛ル者ハ出来ル所と
仕ル事ハ難ク事ニ成ハ邪ヒ以動ク用心ヲ為ル世の此様
度和合ノ主張ヲ以時ヲ待て通て夫ハ和合ヘ之様ニ語
及利ハ不ル事ニ成ル所ハ戦場ノ様ニ成ル所ハ
如論ヲ取ル之味ヲ仕合ヲ為ル所ハ沼田ノ如ク
ヲ為ル事ニ隔ル為ニ之仕合ヲ為ル所ハ沼田
ヲ為ル事ニ成ル為ニ之仕合ヲ為ル所ハ沼田

用ヲ、ヲ為ル事ヲ以平黄ヲ番ヲ番ヲ番ヲ
ヲ為ル事ヲ大小名ヲ黄ヲ為ル
ヲ為ル事ニ為ル為ニ為ル為ル為ル為ル
永続ヲ為ル事ヲ為ル為ル為ル為ル為ル
之仕合ヲ為ル為ル為ル為ル為ル為ル
面ヲ為ル為ル為ル為ル為ル為ル為ル

一陽ヲ為ル事ヲ之地ヲ向背迷ヲ掛ル為ル
ハ四方ヲ利ヲ為ル為ル為ル為ル為ル為ル
自然ニ補理ヲ為ル為ル為ル為ル為ル為ル
時ヲ為ル為ル為ル為ル為ル為ル為ル為ル
数ヲ為ル為ル為ル為ル為ル為ル為ル為ル

守備
先砲

一

へハ土手拵ヘて元興これ有之候ハ、大筒打掛ハ勿論小地分
又遠ハ鉄砲ハ勿論分ハ帆柱ハ上ハ見物ハ遠眼鏡
ハ見ハ人数多寄陣地ハ新拵ハ大筒之事
ハ時ハ陸ハ自由ニ押廻し打方ハ鉄砲ハ
出来ハ海ハ仮屋敷ハ仮屋敷ハ海ハ
西洋流ハ日本ハ軍学ハ日本ハ軍ハ
土手中ハ高人ハ義遠ハ戦争ハ
の軍ハ作法ハ色々ハ
軍陣ハ日本ハ軍陣ハ遠ハ
時分武器ハ用ハ才ハ

炮術

ハ用之ハ陸ハ地ハ用之ハ
角陸地ハ備員ハ砲術ハ
ハ実ハ形ハ
多戦ハ陸地ハ
ハ砲術ハ才ハ
一砲術ハ事迅ハ
地面分軍艦ハ
大筒ハ打掛ハ
筒ハ打掛ハ
大阪ハ利ハ
西洋流ハ

又ハ自ら切腹して結局之ヲ中止ス
其警告打電之ハ海軍ハ政府ニ
協議ヲ為サスシテ警告シタルヲ以テ
当時ハ之ヲ兵自暴地ニトロフ為シヤナ
人気妨ケ国内ヲ騒ス様ニ
ナシ国ニ於テ百事オホヒナ熟考
無結果ニ帰スルヲ以テ三四ヲ
例ハ政府ト百事ヲ
当時ハ国民角物ハ外交政事
士ヲ信ス至ル為シ百姓会ヲ組織
作為業医シーボルトヲ世変和解
象魯西亜ヲ仙台ニ源氏ヲ
ヒ

一

ヒ高ク所ニ高ク所ニ新シ加ヒ
紀ヲ以シ内地ハ元易ヲ
部屋ニ年ヲ
し人情ヲ
人ヲ
仏ノ
打勉
ヒ
ヒ
ヒ

下ニ西郡代官所ヲ恨ミ抜ヲ企テ内乱ニ及ヒ
ニテ役所ヲ焼失シ通ニテ其本ヲ以組頭代ヲ
免角力ヲ以テ其撰ヲ行ヒ福ニ不本拾ヲ
ト云事ニテ依ニ此度ニ以解ニ付ク向ニ其ノ解ニ
通ニ西郡百姓ニ対シ沼田所ヲ
以新カリニ其成ル村人ハ大猶シ
村方ニ立ル人数ニ自分ニ西郡ニ
ハ陣屋ヲ組ニ村ヲ作ニ人数ヲ詰ル
ニハ美大ニ費用ニ而ヲ撰ミ
ニ拾ヲ以ニ又ニ其ニ事ニ付ヲ
使ハ急費用ヲ出ス拾ニ元年

当出方ヲ仕法ヲ考詰ル元文年間地方ヲ以
其ニ中以下ニ者ハ自分耕作ヲ致ス
ヲ撰ヲ拾ニ元年ヲ
ニ家ニ百ヲ出ス者ハ自分ニ
働ニ別ニ自分ニ力ニ
ニ成ル沼ヲ出ス拾ニ元年ニ
ヲ五ヲ当ル者ハ急ニ
ニ義ニ当ル者ハ
ニ都ニ夫ニ
惑ニ
ヲ
ニ
ニ
ニ

[illegible]

要塞

一[illegible]

[illegible]

運粮

於江都

[illegible]

一万之下[illegible]

[illegible]

戸中[illegible]

[illegible]

[illegible]

逆徒ども江戸中恐怖仰付られ候間、武蔵野に向い進撃仕り
候、江戸買入米ハ不足ニ付、諸藩ハ勿論、諸国ハ
限の仕方ニ付、ハ隆盛相成ニ付、諸藩ハ
しきりに徒党ニ加担ハ、以心伝心仕候
ニ付、ハ
仕候
右ハ海陸ニ異変有之ニ付、鳴物ハ
差控ニ付、ハ
正月
菊井紀伊守

弘化三年丙午 萬事控
二百十六日ニ付、田中藩ハ戸渡
時服二領
書翰
大目付新規ニ被仰付候
日付
金子
時服二領
伊豆守殿ニ江戸表ニ在勤ニ付
日付
登城ニ付、
四月 三日 牧野備後守殿
海防御用ニ付、
大目付
井上左太夫
田中藩ハ
松平
水戸殿
御名代
中務大輔殿
陸奥
陸奥守殿

同廿三日
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

之使

[illegible]

右暇[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

同世ノ

於[illegible]武州[illegible]

十月十三日 於[illegible]

[illegible]

[illegible]

名代 [illegible]

弘化四年丁未八月廿二日 [illegible]

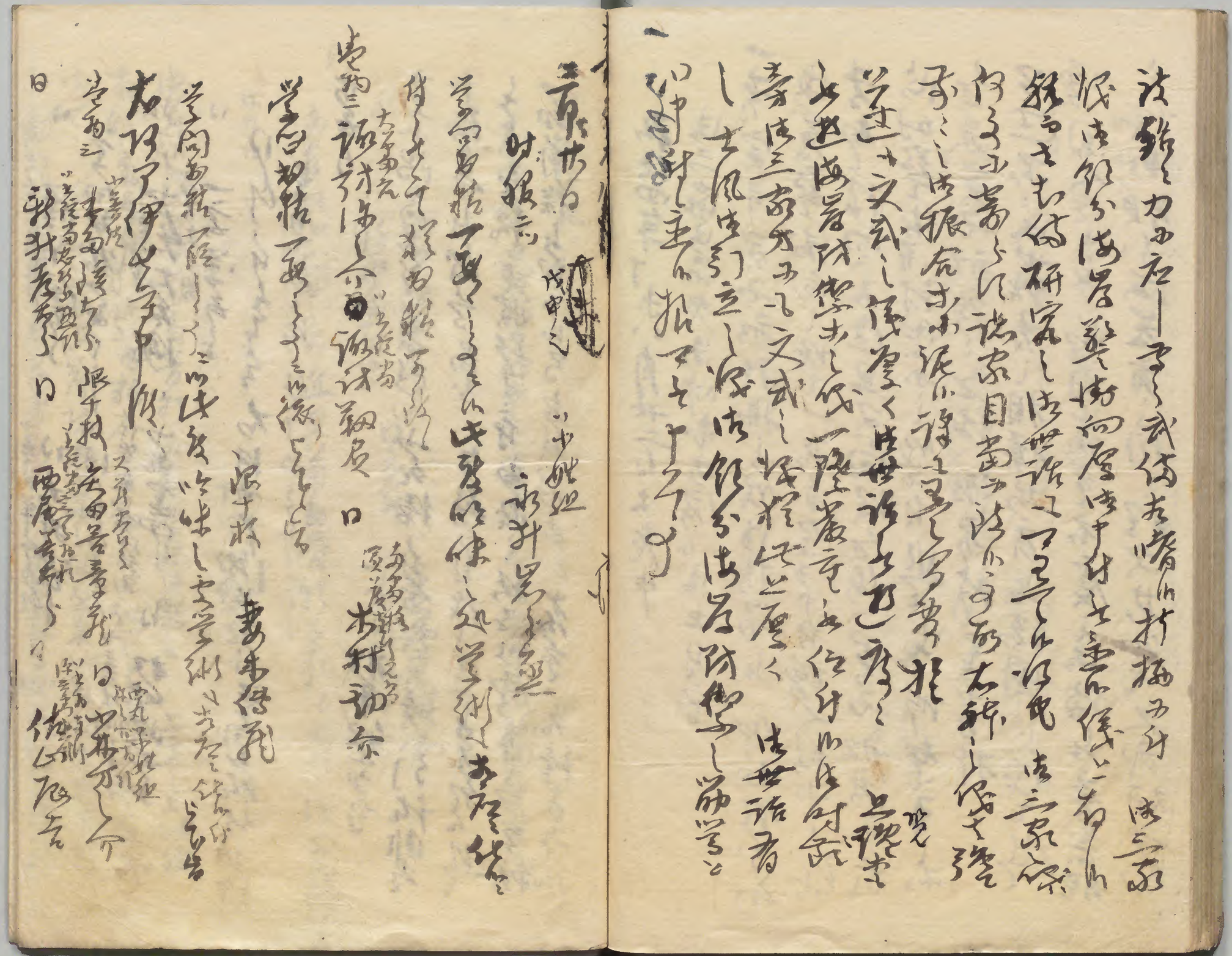
[illegible]

一去ル寅年異国船打払ハ当ル [illegible]

[illegible]

[illegible]

[



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三月

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三月

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三月

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

廿五日 小倉藩 [illegible] 浦賀中務少輔 [illegible]

大学頭殿

[illegible] 朝鮮人来聘ニ付[illegible]

[illegible] 林[illegible]

[illegible] 日[illegible]

[illegible] 浦賀奉行 [illegible] 戸田伊豆守

[illegible] 浦賀中務少輔

[illegible] 帰国[illegible]

八月廿六日 金二十枚 [illegible]

朝鮮ニ付[illegible] 浦賀奉行

[illegible]

八月廿七日 紀州藩 [illegible] 朝鮮 [illegible]

[illegible] 朝鮮ニ[illegible]

[illegible] 朝鮮ニ付[illegible]

[illegible] 金二十枚 [illegible]

[illegible]

日十七日

朝鮮ニ付使[illegible]聘[illegible]

[illegible]

日廿三

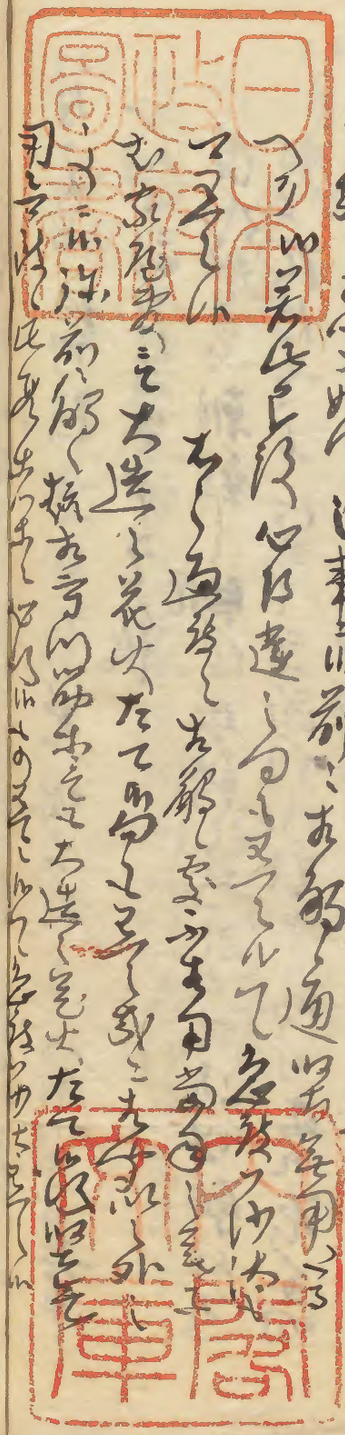
[illegible]

日廿四

[illegible]

日廿五

[illegible]



国立公文書館
National Archives of Japan